

2022年8月

各 位

慶應義塾長 伊藤 公平
慶應連合三田会会長 菅沼 安嬉子

「ウクライナ避難学生学びの継続支援特別プログラム」のご案内およびご支援のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は慶應義塾ならびに三田会の諸活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、国際紛争などの予期せぬ出来事により、これまで教育を受けていた母国からやむを得ず避難せざるを得ない状況に陥っているウクライナ国籍の方が数多くいます。こうした事態を受け、慶應義塾は国際的な大学連合である U7+アライアンスでの会議に中核メンバーとして参加し、[2022年3月18日には世界の21大学とともに共同声明](#)を発表するなど、国境を越えた枠組みで、国際秩序を保つための方向性やウクライナの支援などに関する議論を重ねています。

福澤先生の「学問のすゝめ」を原点に据える慶應義塾は、多くの若者に豊かな教育機会を提供するために創立された学塾です。これまでも東日本大震災、熊本地震が発生した際には、物心両面において困難な状況に陥った在學生をはじめとする被災者の方の安全と被災地の一日も早い復興のために、卒業生を含む多数の関係者のご協力をいただきながら、義援金や「慶應義塾救援医療団」の派遣など、人道的視点に則ったさまざまな支援を行ってまいりました。

慶應義塾は現在、全社会の先導者を目指すにあたっての重要課題の一つとして「誰も取り残されないキャンパス」のための環境整備を掲げております。「支援の範囲を在學生や日本国内にとどめることなく、グローバルなステージに歩を進めるべきである」との考えの下、学びの権利を奪われたウクライナの学生に慶應義塾が一時的にでも学びの場を提供することも使命であると考え、このたび「ウクライナ避難学生学びの継続支援特別プログラム」を設置することとしました。準備の過程で、国内他大学や Pathways Japan との議論により、学部生を受け入れる意向の大学が多く、大学院生の受入れが少ないことがわかりました。そこで慶應義塾は Pathways Japan の協力のもと、大学院生を訪問留学生として受け入れることでウクライナの学生支援に貢献できればと願っています。

本取り組みを推進するためには、物心両面でのサポートが必要となっており、一人でも多くの外国人避難学生を支援するために、慶應義塾長、慶應連合三田会会長の連名にて三田会の皆様にご支援ならびにご協力をお願い申し上げる次第です。

この未曾有の危機に社中一体で立ち向かうために、各三田会におかれましては、会員の皆様にご広くご周知いただき、ご支援ご協力の輪を広げていただけますよう、心からお願い申し上げます。

敬具

